

※会期については、ハロー！ミュージアムで活動可能な期間を表記しています。

展覧会の会期とは異なりますので、あらかじめご了承ください。詳しくは、資料2「活動可能日カレンダー」をご参照ください。

※展覧会名や活動可能日は変更になる場合があります。

※彫刻美術館コースでは「本館 + 記念館」2会場の展示を同じ日に見学できます。

芸術の森美術館コース

■ 展覧会 ■ 特別プログラム

① 遠藤彰子展 生生流転

5/27(月)-6/15(土)

最大幅約7mのキャンバスに「人間の存在」を濃密に描き、観る者の魂を激しく揺さぶる画家・遠藤彰子(1947-)。挿画や立体作品も含めて約80点を一挙に展示します。



遠藤彰子《ことば響くあたり》(部分) 2019年

② 水木しげるの妖怪 百鬼夜行展

～お化けたちはこうして生まれた～

7/3(水)-7/25(木)

妖怪を題材にした作品を多数手がけた漫画家・水木しげる(1922-2015)。本創作の裏側にも着目し、貴重な本人所蔵の妖怪関連資料や漫画作品の原稿などを公開します。



《一反木綿》©水木プロダクション

③ 内藤コレクション 写本

～いとも優雅なる中世の小宇宙

9/11(木)-9/28(土)

中世ヨーロッパの彩飾写本の収集家・内藤裕史氏のコレクション。人々の信仰を支え、知の伝達を担う写本に施された華やかな彩飾を詳細な解説を添えて紹介します。



サン・マッテオ国立美術館のミサ聖歌集Vの画家《聖務日課聖歌集第1330-40年頃 彩色、インク、金/獣皮紙 国立西洋美術館蔵(内藤コレクション)

④ フィロス・コレクション

ロートレック展 時をつかむ線

10/17(木)-12/25(水)

個人コレクションとしては最大級のフィロス・コレクションよりアンリ・ド・トゥールーズ=ロートレック(1864-1901)の素描、版画、ポスター、雑誌、書籍、書簡、写真なども含めて約230点を紹介します。



トゥールーズ=ロートレック《ポスター「ディヴァン・ジャポネ」》1893年 リトグラフ Courtesy "The Firos Collection"

⑤ 札幌美術展 マイ・ホーム(仮)

2025/1/23(木)-3/7(金)

2008年より地域にゆかりのある美術家を紹介してきた「札幌美術展」の第17回。本展では「ホーム」をめぐる表現を紹介します。



(参考)札幌美術展「アフターダーク」展示風景

★園内シンボル彫刻作品と小作品コレクション

6/17(月)-6/29(土)

8/26(月)-9/7(土)

9/30(月)-10/12(土)

2025/1/15(水)-1/18(土)

休館・受入不可期間に開催

札幌芸術の森美術館周辺のシンボル彫刻作品と小作品を巡り、対話による鑑賞を楽しみます。



マルタ・パン《浮かぶ彫刻・札幌》(部分)1923-2008年

彫刻美術館コース

■ 本館 ■ 記念館

⑥ 共振

本郷新+北海道の現代アーティスト (仮称)

6/19(水)-9/14(土)

本郷新の作品や精神を現代作家による鋭敏な視点によって見つめ直し、各表現と互いに響き合わせることで、今日的な価値をもった新たな世界を生み出そうと試みます。

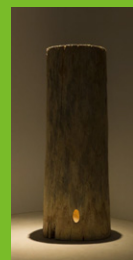


井越有紀《鳥を抱く女》2018年

⑦ 藤原千也展

10/9(水)-12/25(水)

第4回本郷新記念札幌彫刻賞を受賞した藤原千也の作品展を開催。木の魂の感受を求め巨木の内部に潜り込み、斧や鑿で削り製作した作品や、流木を用いた最新作を展示します。



藤原千也《太陽のいす》2018年

⑧ コレクション展 2024-2025

6/19(水)-12/25(水)

彫刻家・本郷新が全国各地で手がけた大型の野外彫刻の石膏原型や様々な素材で作られた作品をかつての邸宅の中で展示します。



《太陽の讃歌》制作中 1971年

5月

①

6月

★

②

7月

⑥

⑧

8月

②

★

③

9月

★

10月

④

11月

⑦

⑧

12月

★

1月

⑤

2月

3月